会　議　録

1	会　議　名	令和８年度第１回阿賀野市水道事業審議会			
2	開催日時	令　和　8　年　10　月　16　日（金）午後1時30分から午後2時15分まで			
3	開催場所	阿賀野市上下水道局　３階　大会議室			
4	出席者 ※（　）は欠席者	委　員	小林　龍幸（会長）	（飯田　武志（副会長））	市川　英敏
			清野　栄一	高橋　えみ子	鈴木　美由紀
			（鈴木　純）	渡辺　正弘	
		事務局	池田上下水道局長	音田次長	渡辺場長
			菅原係長	渋谷庶務係主任	
5	議　題（全部公開）				
	（１）令和7年度水道事業会計決算状況報告				
	（２）阿賀野市水道事業審議会委員の任期満了に伴う改選について				
6	非公開の理由	なし			
7	傍聴者の数	なし			
8	発言の内容（〇印は概要表示）				

発言者	内容
事務局	〇定刻となったため、令和8年度第１回阿賀野市水道事業審議会の開会を告げる。委員８名中5名出席により会議成立を報告（議事の途中で1名着席により最終的には6名出席）。本審議会が規定により傍聴が可能であること、及び議事録は市のホームページで公開すること、録音及び写真撮影することについて承諾を求める。 〇配布資料の確認を行い、小林会長へ進行を引き継ぐ。 ・次第、有収水量実績 ・令和7年度決算報告書及び決算の概要（事前送付）
会長	〇挨拶を述べ、池田局長へも挨拶を求める。
局長	〇挨拶
会長	〇次第により、議題１へ進む。 〇令和7年度水道事業決算状況の報告を事務局へ求める。
事務局	〇有収量水量実績について説明 令和7年度の有収水量は557万2,495㎥で、令和6年度比2.43％、2万3,761㎥のプラスとなり、前年度を若干上回る結果となった。増加要因としては、猛暑や工場での使用量増加などが推測される。人口減少により使用量の減少傾向が続く中で、総合有収水量はほぼ横ばいとなっている。 令和7年度生活用水の水量は386万1,850㎥で、全体水量の約70％を占めており、前年度比0.34％、3,142㎥微増。給水人口は4万1,730人となり、前年度からマイナス1.87％、797人減少。人口減少が生活用水の減少に直結する。 〇令和7年度決算については9月議会で議決された旨を報告。 〇配布した概要版資料のポイントを絞って説明。 ・有収水量及び料金収入は前年度より増加したが、給水人口は減少。 ・企業債残高は令和7年度も借り入れを抑制し、給水収益に対する企業債残高割合も518％と減少し、県内20市令和6年度平均510％に近づいてきた。 ・補填財源残高は、純利益の計上が増加したこともあり、10億760,020万8,169円となり、引き続き10億円を超えている。

会長	○質疑等ないか、諮る。
委員	配管の入れ替えはあとどれくらい残っていますか。年間何百メーター何キロ等、今後どのような計画をしているのか、また概要を見ますとその建設費が2億円ぐらい。 余った、やらなかったということになっている部分についても教えていただけますか。
会長	事務局、お願いいたします。
事務局	布設替えは耐震化がメインかと思いますが、今現状としましては、年間で2.5㎞を目標としています。お金の部分もありますし、人員的なものもあり、2.5㎞ということで今進めているところで、現状としましては耐震化率全体で16％ということですので、実際にこの2.5％、2.5キロでやっていくと、年間で0.5％ぐらいしか上がらないような状況ですので、まだ期間的にはかなりかかると考えております。
委員	○0.5％ですとこの先ずっと終わるってことはないと考えます。0.5％でも間に合うのかどうか。給水量が減っても、配管するのは同じなので、今後さらに人口減という面で予算的に苦しくなるかと思います。収入だけでなく、技術職員が足りないのであれば補充する対応を、予算というか人員配置等の要望をしていかなければならないのでは。
事務局	○人事に関しては市役所とも関連もあり、技術職員の配置を毎年要望しているので、今後も要望を積み重ねつつ、耐震管の更新を進めていきたい。
委員	○人員不足は今に始まったことではなく、本庁の他部署でも足りないと聞いている。早急に対応していただくよう要望してはどうか。
事務局	要望はしているところですので、改めて今の意見を伝えまして、対応を考えていきたいと思います。
会長	○他に質疑ないか、諮る。
委員	給水量と有収水量の差ですね、主な理由は何なのでしょうか。
事務局	○作業水量というもので、安全な水を配る上で夏場の水温上昇時等、水道管内の水を循環させて新しい水を確保するため、末端で水を捨てている。正確にわからない部分もあるが、漏水等もあるかと思うので、今後は調査等も進めていかなければと考えている。
委員	漏水の比率というか、量は完全に把握できていないということですか。
事務局	そうなります。
委員	阿賀野川から表流水取ってますけども、昨今の濁度はどんな状況ですか。上がってますか。
事務局	今年度に限っては、濁度が最高で50度までしか上がっておりません。 昨年、一昨年は100度以上というのが何度かありまして、それは薬品等で対応したというようなことで進めております。
委員	今7年度の話なんで、7年度は濁度が上がっていたということですか。
事務局	○300まで濁度上昇が何度かあり、薬品等を使用しましたが、作業用水としてろ過地の洗浄や沈殿地の泥を取る作業等を多くしていることから、薬品の使用料がありました。
委員	PACを使うと処分にお金がかかると思いますが、処分の状況、PACが含まれた汚泥の処分はどこでやるんですか。
事務局	○放射性物質がまだ検出される状況のため、詳細な場所は伏せるが、県外の処分場で処分してもらっている。乾燥度合いによって費用が変わるので、工夫して搬出しており大きくは増えてはいない状況。
委員	天日乾燥床はいくつかあったんですか。
事務局	全部で6床になります。
委員	まだまだ余裕がある、と。
事務局	○夏場は乾燥が進むことと、いっぱいになるまで張らないように回していくことで、乾燥して小さくなるため、6床で十分間に合っている。
委員	汚泥の処分は、放射能の関係があるから、東電の費用とかでやってるってことですかね。
事務局	そうですね、賠償の請求はしております。
委員	請求はしてるけど、その結果です。

事務局	○令和2年から放射性物質が100を切った場合に関しては、補償対象外との話があったが、まだ東電と引き続き協議を進めている状況であり、常に毎年度処分した分を請求している。
会長	よろしいでしょうか。
委員	一点いいですか。
会長	はい。
委員	給水量、笹神地区だけがちょっと伸びたと、その要因は。
事務局	○先ほど（有収水量実績の説明）工場用水が伸びているとお話しましたが、大室浄水場の近くの工場が水道を使えるようになったことで、給水量が伸びているものです。
委員	○その工場は、年々伸びているという解釈でよいか。
事務局	今まで井戸を使用してたんですけども、水道水に切り換えてきているということでございます。
会長	○他に質疑ないか確認し、議題2の阿賀野市水道事業審議会委員任期満了に伴う改正について、事務局へ説明を求める。
事務局	次第に記載されておりますとおり、皆様の任期につきましては今月末をもって満了となっております。 議会推薦の委員の皆様については、改めて議会推薦をいただくこととなりますが、その他の識見を有する６名の委員の皆様には「阿賀野市水道事業審議会委員の任期満了に伴う改選について」事務局からお願いするものであります。 昨年度、ご審議いただきました「新水道ビジョン」にあります通り、収支状況は大きく悪化していく見込みであり、この先、水道料金の改定も視野に入れていかなければならい状況が確実に迫っております。 　このような事情でありますので、皆様のご都合もあろうかと存じますが、先日文書でもご依頼させていただいたとおり、２年間の審議委員を経験されました委員の皆様により、引き続き審議をしていただきたく、再任をお願いするものであります。 長期間お引き受けいただいている委員の皆様には、また更にということであり、誠に恐縮するところではありますが、お力添えくださるようお願い申し上げます。
会長	今ほど事務局からの説明がありましたが、今月末をもちまして委員の満期が任期が満了するわけですが、水道の経営に関しまして、長い目で見ないとなかなか判断が難しいという面もあるようです。それに関して議員の皆様方のご意見はございませんでしょうか。 ないとのことでよろしいでしょうか。 当会議においては、個人の意見を尊重しながら進めたいと思いますので、最終的には事務局で取りまとめる方向でお願いいたします。 なお、私小林は会長になっておりますけども、今回で辞退させていただきたくお願いいたします。
事務局	ただいま小林会長の方から退任ということでお話がございました。 長期間会長職を務めていただきました。 小林会長には大変感謝申し上げます。大変どうもありがとうございました。 その他の皆様につきましては、改めて委員を再任していただけるようですので、ありがとうございます。 また小林会長が抜けられる方も組織の改選方法に基づいて、改めて改選準備を進めさせていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。
会長	それでは改選の件につきまして、これで終了し、事務局に任せることでよろしいでしょうか。 異議なしでよろしいでしょうか。
委員	はい。

会長	議題についてはこれで終了いたします。 最後にその他ですが、事務局で何か用意されていれば、お願いいたします。
事務局	事務局の方では特に用意しておりません。
会長	それでは最後になりますけれども、閉会の挨拶ということで時間をちょっといただきました。 水道事業にとりましては、水が売れないということは、致命的であると察しておりますが、そういった状況下であっても、事務局には是非、ビジョンの施策を推進するとともに、併せて黒字体系を維持し、可能な限り料金値上げを先送りできるよう経営努力をお願いするものです。 以上で本日の審議は終了いたします。慎重審議ありがとうございました。
事務局	ありがとうございました。 事務局の方から事務連絡をさせていただきます。 本日ご出席いただきました審議会委員報酬につきましては、皆様の指定された口座に10月30日に振り込ませていただきます。ご確認をお願いします。 以上で審議会について終了させていただきたいと思います。大変お疲れ様でした。
一同	ありがとうございました。